

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第13号 平成23年6月13日

貧打に若干の光か????

	1	2	3	4	5	6	7	R
F	0	4	0	0	2			6
G	0	7	0	0	2			9

勝敗の境目は四球の数!!



6/12(日) 今期から初参戦しているVictoriaの公式戦を新横浜公園野球場に向き、ファンキーズと行った。前日の降雨の関係から、当初は、グラウンドはクローズと管理事務所に告げられたが、交渉の結果、使用が可能となり、対戦を終える事が出来た。

3塁前が非常に厳しい中、ゲームは、相手先攻により、プレイボールとなった。今日の先発は達脇、その立ち上がりは、13球で3人を斬り、幸先良い立ち上がりであった。ゲームが動いたのは、2回の相手攻撃、1球で一死を取った矢先、続く打者には、1-3から中前に運ばれ出塁、後続には四球で一死1・2塁の失点の場面に。だが、後続は、4球で見逃し三振を取り、場面は二死1・2塁に、しかし、続く打者の時に、グラウンドがいたずらをし、二死満塁の場面、後続にカウント2-2から高めを相手打者が上手くセンターに弾き返し、ランニングホームランを呼び、一挙4点を献上する形となった。しかししかし、その裏の攻撃で7点(主審は6点と記載したが)を上げ、一挙逆転した。その内容は、打者11人で、4つの四球と失策、単打と長打を交えた結果によるものだ。ゲームはこのままの状態最終回へ。実際は、3点リードだが、スコアの記載は先の内容で2点のリードの気分。この回の先頭打者に初球を中越に運ばれ無死2塁、後続の進塁打で、場面は一死3塁へ。続く打者は、捕手の好フィールディングで二死3塁へ、後、アウトカウント一つで、ゲームセットと思った矢先、後続には、ストロートの四球を与え、二死1・3塁へ。続く打者の初球に力んだのか? WPで1点を与え、更にピンチは続く。二死2塁の場面なので、打者に意識が行き過ぎたか、難なく3盗を許し、二死3塁、そして、4球目を左前に運ばれ、スコアボード上の同点となった。続く後続にも四球、そして、次打者にも安打を喫したが、センターからの好返球が、ホームで刺し、これ以上の失点は防いだ。その裏の我がチームの攻撃は、相手投手の乱調により、安打無くして、5つの四死球で勝利をゲットした。そんな今日のゲームを振り返ってみると・・・

守備の面で2度程違和感が、その一つ目は、センターがダイビングした後のカバーリングとカットプレーの拙さだ。間に打球が飛んだ際には、カバーリングがその後の進塁を防ぐがこれが、映像では若干遅れているように見えた。また、このボールへの内野手の追いかけが深すぎ、且つ捕球エラーとカットの深すぎによる余計な中継が入ってしまったことにより、ホームへの進塁となった。これは、普段から遠投を行い、自身がどれだけ、投げられるかを把握しておく事が重要であろう。決して、ノーバウンドで無くても良いのだから。もう一つは、内外の間に運ばれた打球への処理。ふらふらと上がった打球なので、難しい打球ではあるが、声を掛けなかったのは非常にマズイ。何故なら怪我してからでは遅いのだから。打球においては、更なる得点が出来た筈。3回には無死満塁で0点、続く4回にも二死満塁で得点0、これでは競ったゲームでの勝利は遠いであろう。後ろに繋げる気持ちを忘れずに、慌てず・焦らず・打席に立とう。その気持ちが結果を呼ぶかも知れないので・・・

これからまだまだ、公式戦は続きます、スカッと勝って気持ちよく勝利を呼び込もう・・・

最後に、全体写真はチームの顔です。笑顔はOKですが、ピンッとした態度で写真に納まろうね!